

図書館開館30周年記念活動団体紹介（ミニギャラリー展示）

開館
30周年

図書館の児童文学案内人



児童文学井戸端会議

児童文学井戸端会議について	
活動分野	児童文学の読書会
設立年	1990年
活動目的	児童文学の読書を通じて、現代社会における家族・親子が直面している隠れた問題点などを、個々の人生観の中から話し合う。
活動内容	児童文学の読書会。毎回テキストを決め、作品を読んだ感想をまとめ、話し合う。各回の話し合いは「児童文学井戸端会議 in 伊勢原報告」として発行している。年間5回程度。
会員の受入	随時
問い合わせ先	伊勢原市立図書館 電話：0463-92-3500

伊勢原市立図書館開館30周年、おめでとうございます。私達の会も約30年続いてきたということで、感慨深いです。1990年に、故小西信子さんの呼びかけで4人で始めた児童書の読書会。当初はリングレーター形式で感想を手紙で回していましたが、1991年から図書館会議室で二か月に一回の例会を持つようになりました。取り上げた本は30年で150冊を超えました。東京や玉川学園・京都の読書会に参加している人、伊勢原・栗野・新百合ヶ丘などでおはなし会をしている人、厚木で読書会の勉強をしている人、図書館サポーターの人など、本の好きな人が集まってテキストに決めた本の感想など自由に思ったことを話し合っています。

会の報告をメンバーに郵送していたのも、いつのまにかEメールで簡単に送れるような時代になりました。また昔が仕事や介護等で忙しく、出席2〜3名の心細い状態が続いた時期もありました。それでも皆本を楽しみ感想をおしゃべりすることで、本から受け取った世界が更に広がっていく喜びを毎回感じてきました。話題にだた本をすぐに探してこられる図書館で例会を続けてこれたのも良かったことです。図書館の方々には、長年いろいろとお世話になりました。ありがとうございます。

これからの井戸端会議は、どんな本に出会うことができるでしょうか。ゆるやかに自由に楽しんでいければと思います。



